

# 国土ニュース

第208号 令和2年2月3日

発行:株式会社 国土工営

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36 S&Sビル 2階

TEL : 03-5227-3601 FAX : 03-5227-3604

<http://www.kokudokouei.co.jp>

編集責任者:上甲 覚

## サラリーマン増税

1月から年収850万円超の会社員や公務員は増税となり、逆に所得が2,400万円以下のフリーランスや自営業者は減税となりました。これは、働き方の多様化に対応するためとのことですが、年収の高い年金受給者も増税になるので、高額所得者は大変です。

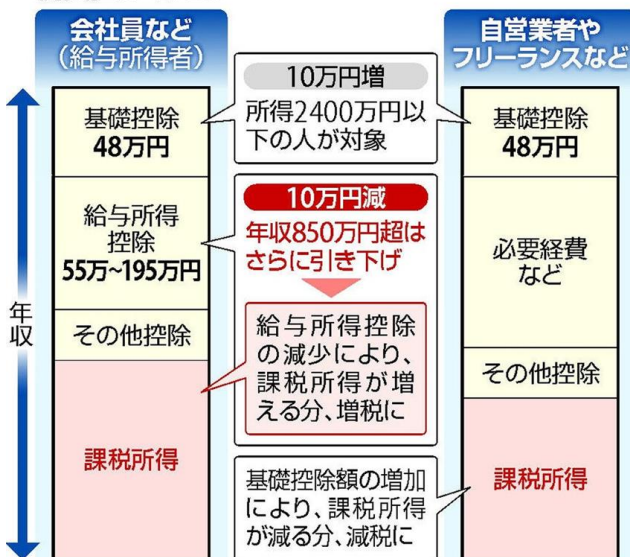
見直しでは、全ての人に一律に適用する「基礎控除」が、38万円から48万円に増えました。この基礎控除は所得が2,400万円までの人が対象で、それを超える所得がある場合は段階的に減少し、2,500万円を超えるとゼロになります。

他方で、会社員の経費とみなす「給与所得控除」は、従来の65万円～220万円が55万円～195万円に引き下がりました。そのため、年収が850万円超では増税となります。ただし、22歳以下の扶養親族がいる世帯や特別障害者控除の対象者がいる介護世帯などは、最大15万円の「所得金額調整控除」の対象となり、増税にはなりません。

また、年金以外の所得が年1,000万円超や年金収入が1,000万円超の場合、原則65歳以上の人が対象となる公的年金等控除が減り、結果的に増税となります。

対象となる方は十分ご注意ください。

## 2020年から高所得の会社員は税負担が増える



出典：産経新聞

## スポーツとテクノロジー

オリンピックイヤーの今年、長距離レースでは通称「厚底シューズ」の話題で持ち切りです。お正月の箱根駅伝では、全10区間中7区間で区間新記録が生まれ、そのうち実に6区間で、厚底シューズが使用されていました。

この厚底シューズの正式名称は「ナイキズームエックスヴェイパーフライネクスト%」で、昨年のMGC(マラソングランドチャンピオンシップ)でお馴染みになったピンクと、その後、オレンジとライトグリーンの新モデルが登場しています。

箱根駅伝で2年振りに優勝した青山学院大学も全区間ナイキの厚底シューズでした。実は、青山学院大学はアディダスと使用契約をしており、昨年10月の出雲駅伝5位、11月の全日本大学駅伝では2位となったのですが、その際に使用していたシューズはアディダスでした。



そこからわずか1ヵ月強で、履き慣れたアディダスのシューズから、ナイキの厚底シューズに履き替え、前年優勝した東海大学のタイムを6分以上更新してしまうのですから、選手の血のにじむ努力と共に、シューズの影響が大きかったことは否めないでしょう。

2018年9月にはケニアのキプチョゲ選手が2時間1分39秒の世界記録を樹立し、同年10月のシカゴマラソンで日本の大迫傑選手が2時間5分50秒の日本記録を樹立しましたが、両選手ともナイキの厚底シューズを履いていました。

元々、長距離レース用のシューズは、「如何にして薄底にするのか」がテーマでした。薄底シューズのメリットは、軽量でかつ地面の反発力を得やすいということです。NHKの大河ドラマ「いだてん」で有名になった金栗四三は足袋を履いて走っていましたし、ローマオリンピックと東京オリンピックのマラソンで2連覇したエチオピアのアベベ・ビキラ選手はローマオリンピックではなんと裸足で走りました。但し、薄さは半面、地面からの衝撃がダイレクトに伝わるので、後半疲れが溜まりやすいというデメリットがあります。

ナイキは、厚底シューズの「後半の疲れにくさ」というメリットを生かしつつ、「軽量」と「反発力」という薄底シューズのメリットを、新開発した軽量カーボンプレートに靴に内包することで解決してしまいました。

このように長距離レース界を席卷した厚底シューズについて、ワールドアスレティクス(世界陸連)は、東京オリンピックでの使用を禁止するのではとの噂が立ち

ましたが、靴底が40mm以内で靴底のプレートが複数でないことと、4か月以上市販されていれば使用可という新ルールが発表され、結果、現行モデルで36mmの厚底シューズは本番で使用可能となりました。

過去には今回の長距離レース用のシューズと同様に、オリンピック前に大騒動になった「用具」がありました。皆さん覚えていますか？正解は、2008年の北京オリンピック前に世界記録を連発した競泳用の水着です。

この水着は英国のSPEEDO社が開発したレーザー・レーサー(LZR Racer)で、水着の縫い目が無く、撥水性に優れ、強い締め付けによる体の筋肉の凹凸を減らすという効果で、極限まで水の抵抗を無くすというものでした。2008年のジャパンオープンでは、17の日本記録が生まれ、そのうち実に16がこの水着を着た選手という結果でした。

出典：ゴールドウイン



当時の問題点は、今の厚底シューズとは異なり、日本水泳連盟がSPEEDO社とライセンス契約を行っていたゴールドウインと契約しておらず、そのままの状態では、日本代表選手はレーザー・レーサーを着用出来ないという事でした(当時契約していた3社「ミズノ、デサント、アシックス」では改良水着が間に合わず、日本代表選手も本番ではレーザー・レーサーの着用が出来た)。

結局、北京オリンピック後の2009年、国際水泳連盟の会議により大きく規制(水着の布地は「繊維を織る・編む・紡ぐという工程のみ加工した素材」とし、水着が体を覆う範囲も男性は臍から膝まで、女性は肩から膝まで)を受け実質2010年から使用禁止となりました。

昨今のスポーツ界では、用具の進化がそのまま成績向上につながります。選手の努力よりも用具のテクノロジーが注目されるのは残念ですが、結局これからも開発と規制の「いたちごっこ」になるのでしょう。

ちなみに、東京オリンピックのマラソンでは、暑さ問題から、急遽コースが変更(東京から札幌)になりました。均一な陸上トラックが完備されている他の陸上競技と異なり、公道を使用し、且つ距離の長いマラソンのコースの変更は一般に考えるより大変なことなのです。

コースを作るためには、まずコースの公認を取得する必要があります。日本陸上競技連盟「長距離競争路ならびに競歩路公認に関する細則」によると、コースの計測は自転車による計測かワイヤーによる計測でなければなら

りません。マラソンコース計測の場合は、主にワイヤー計測となりますが、これは、50mのワイヤーを50m毎に移設させる方法で計測し、42.195kmになるまで、合計844回繰り返して計測していきます。

次に、計測の場所については、トラック内では内側の縁石から300mm外側の地点とし、道路等も準じます。S字など曲折した道路では、曲折部分の頂点から300mm離れた地点を結んだ最短を計測します。

競争路の距離における許容誤差は、プラス0.1%以下とし、マイナスは認めない(公式記録とならない)ので、どこのマラソンコースも安全をみて正確には42.195kmより少しだけ長めになるよう設計されています。

また、計測する際には、申請者は事前に道路使用許可を得て、計測者の傷害保険へ加入するとともに、計測における安全を確保しなければならないとあります。マラソンコースはほとんど公道ですから、計測時にいちいち交通規制するわけにもいかず、常に交通事故のリスク等、危険と隣り合わせです。

その他には、直線距離は全距離の50%以下とすることや、スタートとフィニッシュ地点の2点間の標高差は1kmあたり1mを超えてはいけないというものもあります。

これらを勘案すると、コース設計だけでも莫大な時間とお金がかかります。東京オリンピックの札幌コースが、大きなループ1周と、約10kmのループ2周という従来あまりないコース設定になったのも、警備上の問題だけではなく、上記の負担軽減があったのでしょうか。

いずれにしても8月のマラソンでどんなドラマが待ち受けているのか、今から待ち遠しいですね。

トリニテシステム業務提携先 (令和2年2月現在)

- 東京税理士協同組合
- 東京地方税理士協同組合
- 千葉県税理士協同組合
- 埼玉県税理士協同組合
- 名古屋税理士協同組合
- 東海税理士協同組合
- 京都税理士協同組合
- 滋賀県税理士協同組合
- 大阪・奈良税理士協同組合
- 神戸税理士協同組合
- 阪神三税協 (伊丹・尼崎・西宮)



国土工営では

- ①土地資産家のお客様の相続対策・納税対策
- ②保有資産の収益力向上・資産の組換えなど資産強化策
- ③自社株評価補助・事業承継税制の活用等法人対策
- ④中小企業のM&A、事業再生

などを手がけております。各分野の専門家が調査・実務を担当いたしますので、お気軽にご相談ください。

本 社：03-5227-3601  
 横浜支店：045-651-2841  
 名古屋支店：052-588-2322  
 関西支店：075-212-2801  
 大阪事務所：06-6920-5551